

事例シート

■After 建築名称 用途 設計者 所在地 竣工年 掲載誌 資料 賞・選定 クライアント 助成金・法令 URL	テート・モダン Tate Modern		 撮影・提供者 柳沢伸也2003年撮影			
	大分類 展示施設 小分類 美術館					
	Herzog & de Meuron					
	Bankside, London Google Map					
	2000年					
	『コンパクト建築設計資料集成 都市再生』丸善出版					
	Tate Gallery					
	Heritage Lottery Fund					
https://www.tate.org.uk/visit/tate-modern		概要 After 設計コンペで勝利したヘルツォーク&ドムエロンが設計したテート・ギャラリーの近現代美術館。発電機のあった巨大なタービンホールをエントランス空間として、屋上にガラス張りのレストランを設置。地上6階、地下1階。テムズ川には、フォスター設計によるミレニアム・ブリッジが架かる。2016年には、南側に同じくH&Dによる設計でスイッチハウスという名称の新館がオープン				
■Before 建築名称 用途 竣工～閉鎖	バンクサイド火力発電所/Bankside Power Station		概要 Before ギルバート・スコットによる設計で、1947年に建てられた石油動力の発電所。全長155m、幅73mで高さ99mの煙突を持つ。鉄骨造。外装はレンガ。川沿いの並木道が整備できるよう、建物はテムズ川からセットバックして建設された。1981年10月31日に閉鎖。			
	大分類 生産施設 小分類 発電所					
	1947～1981年					
■写真 写真 Before	Before	After	After			
						
		閲覧室が増築されたかつてのタービンホール		セントポール大聖堂に向かって架かるミレニアム・ブリッジ		
撮影・提供者		撮影・提供者 柳沢伸也2003年撮影		撮影・提供者 柳沢伸也2003年撮影		
■手法	● 用途変更	部分保存	痕跡	● 外観保存	外観改変	外観保存、内部大改造 テムズ川と水平に伸びるライトビームを付加し、かつての火力発電所を象徴する煙突、大聖堂に向かう歩行者ブリッジといった3つの軸線を強調した。内部はかつて吹抜のタービン室をエントランスホールとして生かし、閉鎖的だった産業遺産を開かれた文化施設へと転用した。
	● 増築	● 減築	挿入	● 対比	同化	
	併存	引用	被覆	合体	補強	
	移築・曳家	復原・復原	遺構	アート		
■備考	1982年以降使われなくなっていたバンクサイド火力発電所を、美術館に転用することによって、周辺地域の活性化が図られた。発電施設という工業地区を転換するために、大掛かりな都市計画変更を伴った。テムズ川対岸にあるセントポールズ大聖堂からテートモダン美術館にかけて、複数の計画者が時代を超えて、歴史的景観を手掛かりとしたマスタープランを共有し、豊かで統一感のある都市景観が形成されている。テートモダンの北側の河川には、ノーマン・フォスター設計によるミレニアム・ブリッジが架けられ、南北をつなぐ新たな方向車動線が形成されている。設計手法としては、煙突脇にあった装飾的なボリュームを取り除き、煉瓦の壁に開口を穿つなど手を加えている。川沿いのオープンスペースは、ミレニアム・ブリッジと合わせて、人々外構広場が形成された。煙突は当初、展望台に転用する計画であったが、粉じん問題などから光のキューブを設置するだけで未利用の状態である。南側には、同じH&Dによる設計で2016年に、新館がオープンした。新館の建物形状は、発電所とは対比的なデザインだが、外壁に同じレンガを使用するなど統一感を図っている。					
■作成者	氏名(所属) 柳沢伸也 (JIA再生部会)	整理番号 SY-001				